

## 平成20年度大気環境中のアスベスト濃度調査結果について

県内の大気環境中のアスベスト濃度を把握するため、平成17年度から調査を実施しています。

平成20年度の調査結果の概要については、次のとおりです。

### 1 測定結果

平成20年7月～8月（夏期）及び11月～12月（冬期）において、県内4カ所における大気中のアスベスト濃度を調査した結果は下表のとおりND～0.10本/リットル未満でありました。

大気環境中のアスベスト濃度の環境基準は定められておりませんが、大気汚染防止法によるアスベスト製品製造工場等の敷地境界基準の10本/リットルと比較しても1/100以下と非常に低い値となっており、WHOによると、世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は1～10本/リットル程度で、この程度であれば健康リスクは検出できないほど低いとされています。

表 アスベスト環境調査結果

測定場所		濃度(本/L)	
		夏期	冬季
甲府市	丸の内1丁目	0.092未満	0.071未満
甲府市	富士見1丁目	ND	0.071未満
都留市	田原3丁目	0.071未満	0.10未満
市川三郷町	高田	ND	ND

- \* 各地点の石綿濃度の評価に当たっては、アスベストモニタリングマニュアル（第3版）（平成19年5月・環境省水・大気環境局大気環境課）に基づき、各地点で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を地点ごとに幾何平均し、その値を当該地点の石綿濃度としています。1回でも不検出であった場合「計数した視野で1本の繊維が計数された」と仮定して算出した値に「未満」を付けて記載しています。全て不検出であった場合はNDと記載しています。
- \* 測定場所：幹線道路沿線、住宅地域等を代表する大気環境測定局及びアスベスト使用履歴のあった工場周辺